

PrimeSeat を楽しむ(28)  
—BPODCH の 11.2MHzDSD ライブ配信(4)—

1. 始めに

インターネットイニシアティブ (IIJ) は、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の2019-2020年シーズン定期演奏会から5公演をDSD 11.2MHzにて無料ライブ配信すると発表しました。

<https://primeseat.net/ja/>

<https://www.phileweb.com/news/d-av/201909/17/48467.html>

<https://online.stereosound.co.jp/ct/17303322>



そのラインアップから、今回第4回配信を視聴することにしました。

■第4回配信

キリル・ペトレンコ (指揮)

ストラヴィンスキー：3楽章の交響曲

ツィンマーマン：バレエ組曲《アラゴアーナ》(ブラジル風奇想曲)

ラフマニノフ：交響的舞曲

ライブ配信：2020年2月16日(日) 午前3:00～

聴き逃し配信：2020年2月18日(火) 11:00～2月24日(月) 24:00



2. PrimeSeat 配信の試聴方法

試聴方法は、前報 (27) のルート C、すなわち下記で行います。

PC→UACU-700→Sonica DAC→ACCU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+  
今回は、さらに FAL C90EXW へのバイワイアリングスピーカーケーブルにケーブルチューナーが装着されています。

### 3. PrimeSeat 配信の試聴結果

DA-3000 入力端子へのアナログアキュライザーACCU-1000 の装着とスピーカーケーブルにケーブルチューナーが装着されたことにより、ベルリンフィル大ホールの音場感がいっそう豊かに感じられます。ストラヴィンスキーとツィンマーマンでは切れの良い演奏が響き、ラフマニノフでは、躍動的な、あるいはロマンチックなメロディーから最後の爆発的な盛り上がり、ベルリンフィル大ホールいっぱい響き渡り、終演後の熱狂した聴衆の拍手が長く続きました。

### 4. まとめ

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の DSD 11.2MHz の第 4 回配信が受信できました。

以上